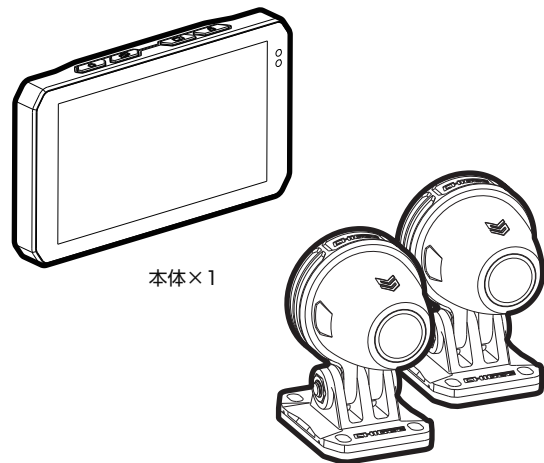


SRS-001 スマートライドモニターAIO-5 Lite

〈取扱説明書〉

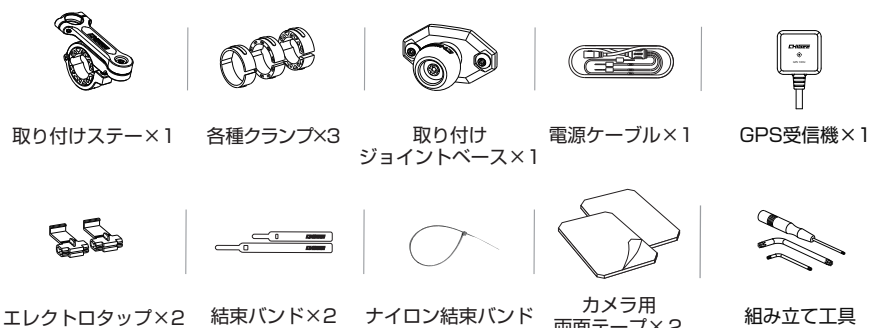
構成 01

製品構成



本体×1

付属品



取り付けステー×1

各種クランプ×3

取り付けジョイントベース×1

電源ケーブル×1

GPS受信機×1

エレクトロタップ×2

結束バンド×2

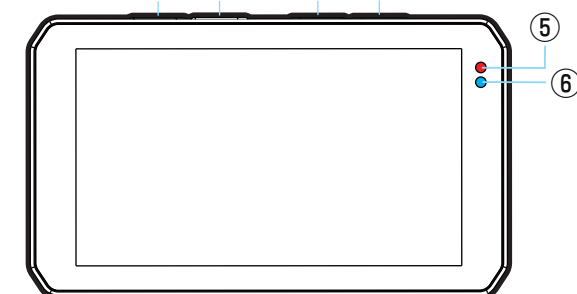
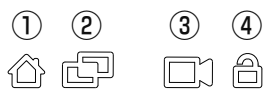
ナイロン結束バンド

カメラ用両面テープ×2

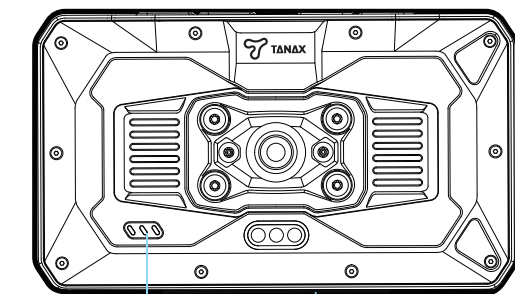
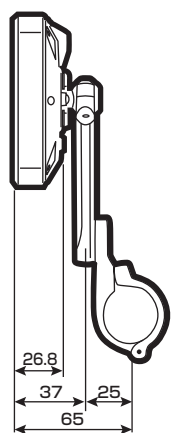
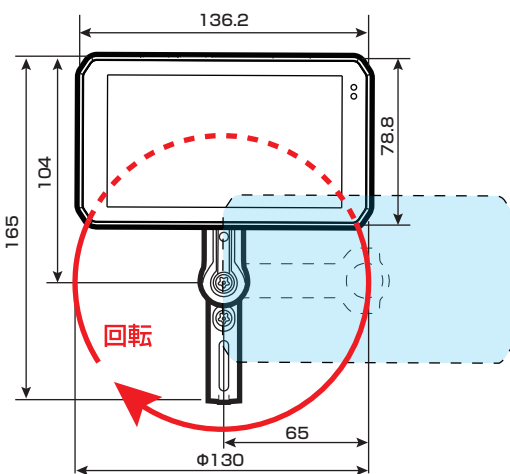
組み立て工具

カメラ×2

製品詳細



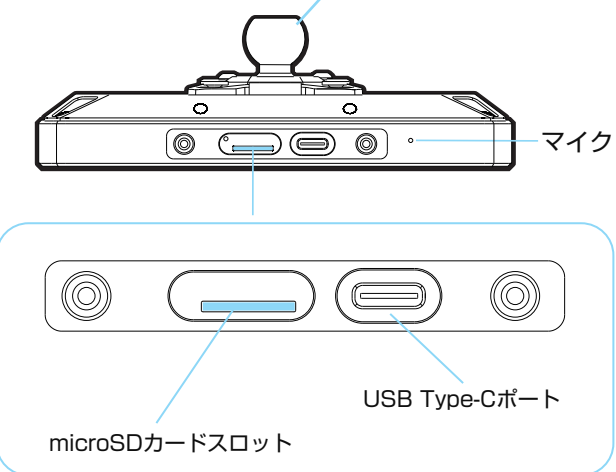
- ① ホーム
- ② リンク
- ③ ドライブレコーダー
- ④ ロック
- ⑤ 録画インジケータ
- ⑥ 光感知センサー



スピーカー

防水カバー

Φ17mmボールジョイント

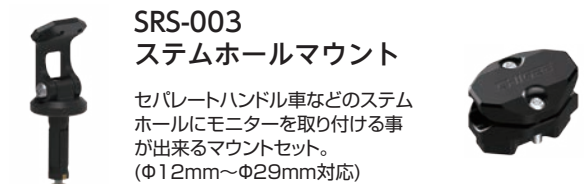


マイク

microSDカードスロット

USB Type-Cポート

別売オプション取り付け



SRS-003
ステアホールマウント

セパレートハンドル車などのステアホールにモニターを取り付ける事が出来るマウントセット。
(Φ12mm~Φ29mm対応)



SRS-004
マウントブラケット

Φ12mm~16mmの水平バーにモニターを取り付ける際に使用するマウント。



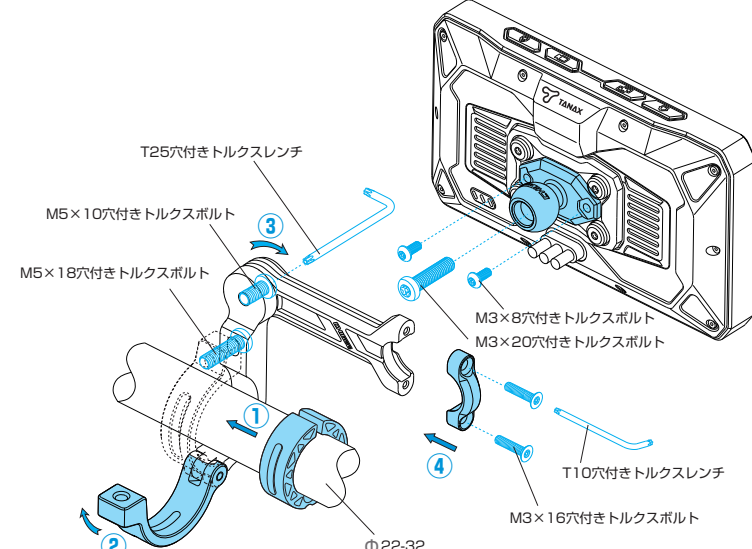
SRS-005
ハンドルミラーマウント

10mmネジのハンドルミラー取り付け部に共締めで使用するマウント。付属のワッシャーを使用する事で、8mmネジのミラーにも対応します。

取り付けについて 02

本体の取り付け

ハンドルの直径に合った適切なサイズのクランプを使用してください。
直径が32mmの場合、ハンドルを傷つけないように付属の傷つき防止テープを使用してください。



- ① 取り付けのハンドル径に対し適切なサイズのクランプを挟む。
- ② 各種クランプとブラケットクランプを挟み、付属のT25穴付きトルクスレンチでボルトを締め込む。
- ③ 付属のT25穴付きトルクスレンチを使用し、ステーの角度を調整し、ボルトを締め込む。
- ④ 付属のT10穴付きトルクスレンチを使用し、ステーとモニタージョイント部を締め込み、角度を調整しながら固定する。



録画の保存

スマートライドモニターAIO-5 Liteは内蔵32GBのeMMCストレージ*に録画を保存します。
(*実際に録画を保存できるストレージ容量は29GB)
microSDカード挿入後は録画はmicroSDカードに保存します。

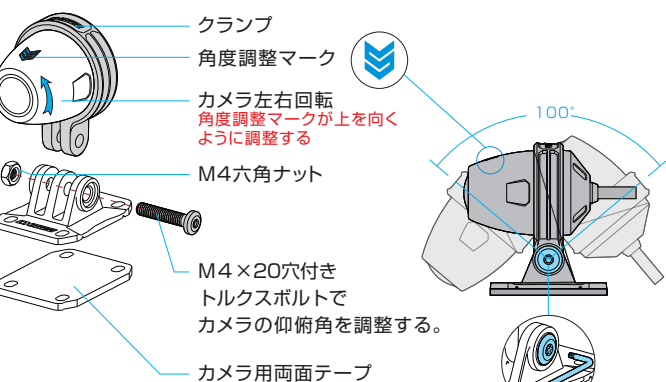
●衝撃を検知しロックされたファイルはループ撮影の上書きがされないため、ドラレコ本体の指示に従ってロックされた録画ファイルを削除するか、ストレージをフォーマットしてください。

① ワンポイントアドバイス
定期的に録画ストレージをフォーマットして、容量に空きがある状態を維持してください。
フォーマットは録画ファイルが全て消去されます。

防水キャップはトルクスネジで取り付けられています。ネジを差込してからキャップを外してください。また、本来の防水性能が発揮されない可能性がありますので、microSDカードを取り付けた後は防水キャップを本体にしっかり押し込んでください。

③ 転送速度がU3規格のmicroSDカードを使用してください。
U3以下のmicroSDカードは正常に録画出来ない可能性があります。
(microSDカードは別途購入が必要です)

カメラの取り付け



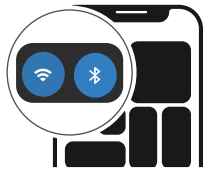
※ 取り付け上の注意事項
1. ボルトを緩めてカメラを360度回転させ、角度調整マークが上に向くように調整してください。
2. 取り付け場所の脱脂を行い、カメラ用両面テープで貼り付けてください。貼り付け後は10秒以上強く押し付け、24時間触らないでください。

アクティベーション(初回のみ) 03

手順:



アプリをダウンロード
iOS / Android



② スマートフォンのWi-FiとBluetoothをオンにする。

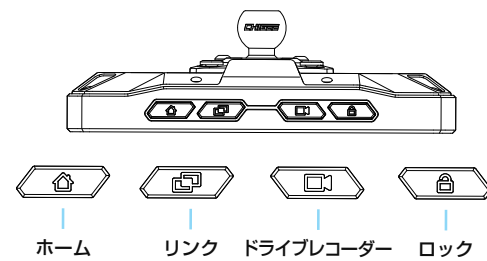


③ AIO-5 Liteを選択し「デバイスを接続」をタップしてください。



④ 画面の指示に従い本体で接続を承認してください。

操作について 04



- ① ホーム ホーム画面に戻ります
- ② リンク リンクしたApple CarPlay / AndroidAuto / Bluetoothとメーターの画面を切替できます
- ③ ドライブレコーダー ドライブレコーダー画面に戻ります
- ④ ロック 短く押す：画面をオフ
2秒以上押す：表示画面を固定する
6秒以上押す：本体を再起動する

操作画面紹介



- ① リンク (デバイスの種類を選択する)
- ② ドライブレコーダー (カメラ映像)
- ③ メーター (走行データを確認する)
- ④ 設定 (設定画面に入る)
- ⑤ 速度計 (走行距離と時速)
- ⑥ コンパス (現在地)
- ⑦ タイヤ空気圧 (別売り・オプション)
※表示するにはSRS-002 空気圧センサー(前後入り)が別途必要です。



- ① 静止画撮影
- ② 録画フォルダ
- ③ 録画開始/停止
- ④ ファイルをロック
- ⑤ 設定
- ⑥ 表示カメラ切替

ドラレコ設定 05



解像度
1080P/27.5fps | 720P/27.5fps

合成出力
前後カメラの録画データを1つのデータに合成します。

録画時間
ループ撮影時間は1/2/3分の設定が可能です。

データ情報
ビデオ画面にデータ情報の表示を選択します。
選択可能なデータ情報：時間、速度、経緯度
詳細なデータはCHIGEE GOアプリで表示可能です。

鏡像プレビュー
鏡像プレビューの切り替えが設定できます。

衝突ロック
衝突を検知し録画ファイルはロックされ保護されます。
衝突Gセンサー感度の設定：低中高の3段階

駐車監視
電源が入ってない状態で車両への衝撃を検知すると、約60秒録画を行います。
監視Gセンサー感度設定：低中高の3段階

音声録音
集音する音量を調整できます。

システム設定 06



表示と音量
画面の明るさ、自動調光のON/OFFと操作や起動の音量を調整できます。

ストレージ
eMMCストレージとmicroSDカードの残容量を確認が出来ます。
重要なファイルはフォーマットしないでバックアップしてください。

メニュー
オプションの空気圧センサー、リモコンとインカムの音声出力、GPS、死角監視、ファームウェアの更新などの設定が可能です。

言語
言語を設定します。

日時
時間と日付を設定します。

リセット
工場出荷時の設定に戻ります。

デバイス情報
型番、名称、バージョン番号、SNコード、法律と認証情報を確認できます。

CHIGEE GO
専用アプリCHIGEE GOと接続することで、録画データをスマートフォンに転送が可能です。

デバイス設定 07



タイヤ空気圧(オプション・別売)
SRS-002 タイヤ空気圧センサーを装着することでリアルタイムで空気圧の監視が可能です。また、高低気圧になった場合に警報することができます。

音声出力
音声出力方法の確認ができます。
※音声出力はスマートフォンに接続する仕様になります。

GPS
電波強度、速度、経緯度を確認できます。

プロワイヤレスリモコン(オプション・別売)
SRS-006 プロワイヤレスリモコンを装着することで通話対応、アプリの切り替え、画面の切り替え操作等ができます。

死角監視(BSD)
BSDをオンにすることで、運転中に左右後方の死角の車両を検知した時に画面上で運転者に警告します。また、識別感度、自車速度を設定可能です。

注意事項

BSD(死角監視機能)は運転アシスト機能です。
システムは状況により誤検知や検知漏れを起こす可能性もありますので運転者は常に警戒心を持ち周囲の状況を把握してシステムに過度に依存せず法律(ウィンカーの使用、自分の目によるミラーの確認、左右確認、後方確認等)を守り運転してください。